

通 教 月 報

診 療 情 報 管 理 研 究

平成21年10月号

編 集 大井 利夫
発 行 人 〒102-8414 東京都千代田区一番町13-3
社団法人 日本病院会 通信教育課
TEL 03-5215-6647 (受講生専用)
FAX 03-5215-6648 (受講生専用)
URL <http://www.jha-e.com/>
受付時間 9:00~17:00
(ただし、土・日・祝祭日、年末年始は除く)
発 行 日 毎月1日
定 価 1部 150円 1カ年1,600円(送料共)
郵便振替 00190-5-396045
名 義 社団法人 日本病院会 通信教育部

診療情報管理士と生涯教育

佐藤 正子

医療法人社団 澁志会 診療情報管理部長 兼
瀬田クリニック札幌 マネージングディレクター
日本診療情報管理学会生涯教育委員会 委員
北海道会場専門課程(診療情報管理論Ⅰ、Ⅱ) 講師

去る9月17日、18日の両日、浜松市(静岡県)で開催された第35回日本診療情報管理学会学術大会に参加しました。我々診療情報管理士にとって本学会は貴重な生涯教育の場であるとともに、全国にいる診療情報管理士の仲間と再会し交流できる貴重な機会となっています。今年の学会には1,100名余りの方が参加され、180を超える演題発表がありました。

12年前(平成9年)、私の住む北海道で第23回学術大会が開催された当時と比べても毎年確実に学会への参加者数が増えており、学会活動の充実と発展を伺わせるものでした。数年前より、「DPC」、「がん登録」などの演題数が多くなっているのが印象的ですが、この傾向は、診療情報管理士に求められている社会的役割の変化を顕著に反映しているものと思われます。皆さんは、今回の学会に参加されましたか?ご自分の居住地近隣で開催される研修会、セミナーに参加するよう心がけていますか?職場の事情や経済的な理由などによりまだ思うように参加する機会が得られていない方々も多いのではないのでしょうか。

通信教育課程のスクーリングでの学習は、診療情報管理士を目指す受講生の皆さん方にとってはまだスタート地点に過ぎません。実際に診療情報管理の仕事を始めると、専門職として周囲の期待のなかで、時に自分の知識の乏しさに落胆し、焦りさえ感じる場合があります。そんなとき皆さんはどのようにして、その状況を乗り越えようと考えますか?私は診療情報管理士が専門職として、職場のニーズ、社会のニーズに対応すべくキャリア向上を目指していくには、資格取得後も継続的な教育プログラムのなかでスキルを磨いていくことが大変重要であると考えています。現在は、業務に必要な情報もインターネットを検索すれば比較的簡単に得られる環境になっていますが、学会や研修会などに参加することによって得られる生の情報や自身のモチベーションをあげるための刺激は、決してインターネットからは得られない価値があることを痛感させられることが度々あるからです。生涯教育の機会は、待っていても自動的に与えられるものではありません。自ら行動することでその機会を増やしていくことが必要になってくるでしょう。

生涯教育の重要性については、診療情報管理士の誓いの中で「私たちは、つねに研鑽を積んで専門的能力を高め、他の職種との協調・連携に努めます」との言葉にも示されています。「自己啓発」と「能力拡大」のキーワードを忘れずに、是非、診療情報管理士としての自己実現のため、今後も継続的に勉学に励んでいかれることを心より期待しております。